

KS 合成スラブ

1. 概要

KS 合成スラブ工法の KS 板は、逆リブ状フラットスラブであって、高強度コンクリート (500 kgf/cm²) を使用したプレストレストコンクリート製品である。事務所、マンション、高層住宅等の遮音性能の高い床には実断面タイプ、大スパン床構造、積載荷重の大きい冷凍倉庫には中空タイプを使用して、小梁を無くした大スパンフラットスラブを形成することによって、天井高さを最大限に活かした合成フラットスラブ工法となる。

〈特長〉

- 1) 遮音等級 (L-50) 以上のスラブ厚さをつくる。
- 2) 大スパンフラットスラブを形成する。
- 3) 積載荷重の大きい大スパンスラブに適している。

〈用途〉

スパン 4 m~11 m の範囲でフラットスラブによる高層住宅、事務所、冷凍倉庫等に使用することができる。

2. 規格

KS 実断面タイプの形状寸法を図-1 に、耐荷性能を図-2 に示す。

また、KS 中空断面タイプの形状寸法を図-3 に、耐荷性能を図-4 に示す。

3. 設計および製造

〈設計基準、設計方法〉

KS 板コンクリート設計強度： $F_c=500 \text{ kgf/cm}^2$

場所打ちコンクリート設計強度：

$$F_c=210 \text{ kgf/cm}^2$$

構造種別：パーシャルプレストレス (PPC 構造)

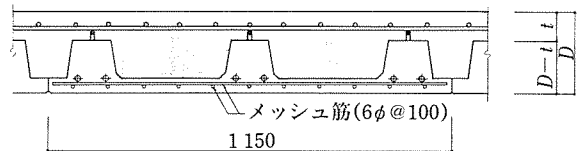


図-1 KS 合成スラブ断面図

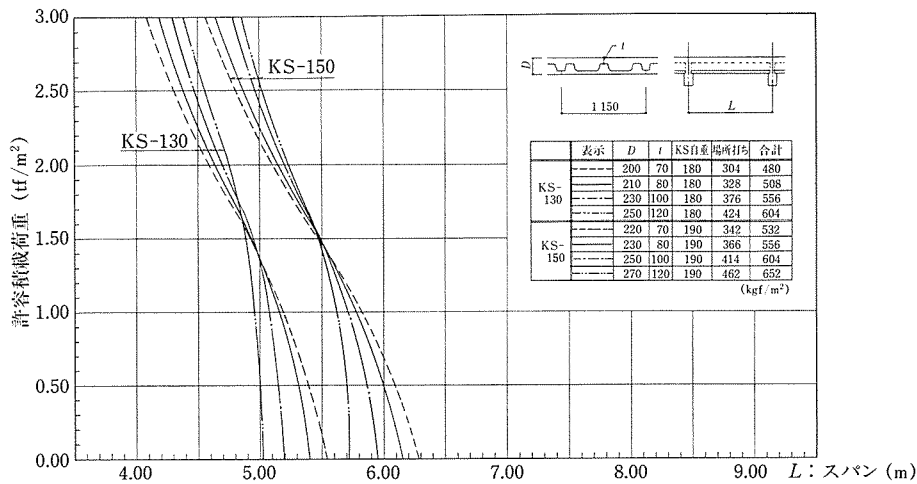


図-2 KS 合成スラブ許容積載荷重

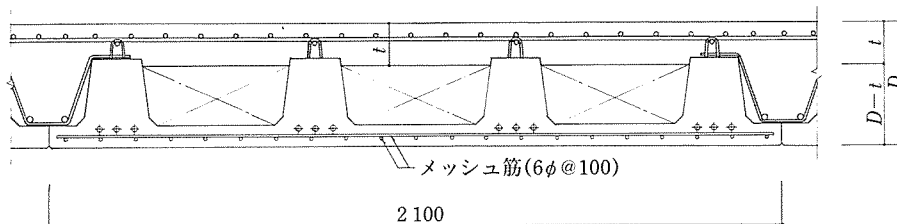


図-3 KS 合成スラブ中空断面図

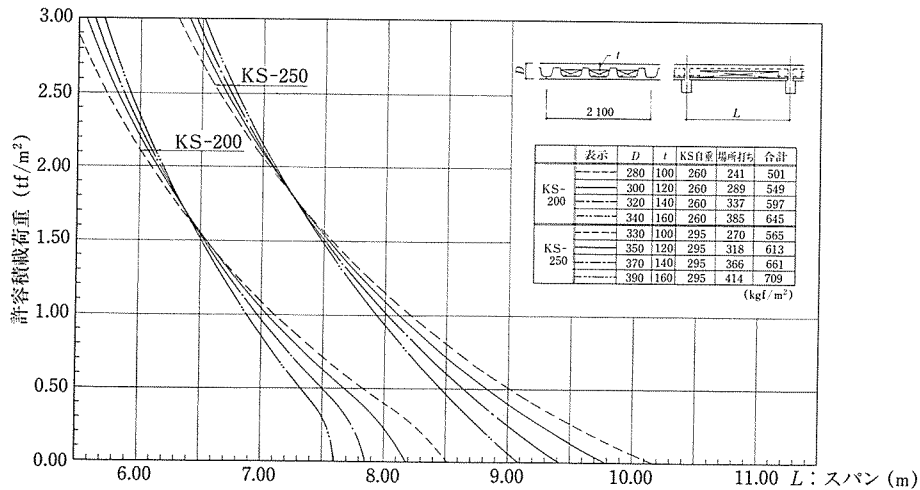


図-4 KS合成スラブ中空許容積載荷重

設計方法：両端固定 (0.65 C) の一方向性床板の設計，場所打ちスラブとKS板リブの界面はシヤー筋により二方向スラブ配筋を行って合成フラットスラブとする。

4. 施 工

KS板と場所打ちフラット大梁の接合部詳細を図-5に示す。また，工場内ストック状況を写真-1に示す。

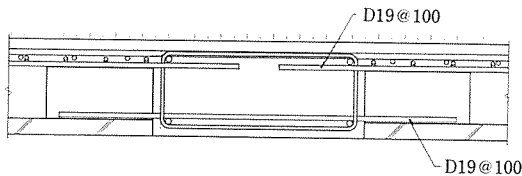


図-5 KSスラブ端部詳細図



写真-1 KS板のストック状況

5. 施工実績 (施工床面積)

- ・ニチレイ船橋第2工場 17 735 m²
- ・森ビル城山プロジェクト 10 000 m²
- ・東京造形大学新キャンパス 6 000 m²
- ・神谷町森ビルB棟 1 666 m²



写真-2 ニチレイ船橋第2工場施工状況

■ 問合せ先

黒沢建設(株)

〒160 東京都新宿区西新宿 8-20-2 アイリスビル
TEL 03-3371-3573 FAX 03-3365-1932